# リトル・オデッサ（1994）

LITTLE ODESSA

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ
**製作国** アメリカ
**色彩** Color
**時間** 98分
**初公開日** 1995/12/23
**公開情報** メディアボックス＝シネセゾン

**【解説】**

ロシア系移民街を舞台にしたある家族の物語で、最良のスコセッシ作品にも近い、張り詰めた調子が全編失われない。その閉鎖社会“リトル・オデッサ”に舞い戻ってきた青年ジョシュア（ロス）は殺し屋で、次なる標的がそこにいた。兄の帰還を人づてに聞いた弟ルーベン（ファーロング）は、こっそり勘当された兄に会いに行く。彼らの母は脳腫瘍で長くない。弟は厳格な父（シェル）が、スタンド売店の仕事で留守のうちに兄を家に招き入れるが、そこへ父が帰宅。兄は父を殴りたおし、そのまま出ていった。残った弟は体罰を受けたが、それを見た兄は父を表に連れだし、裸にして“殺す”とすごむ。二人の不和は決定的なものとなっていく……。やはりリトル・オデッサ出身で、己のルーツに忠実なデビュー作を放ったＪ・グレイの演出は、近年のアメリカ映画には見られなかった鋭い切れ味をみせる。ゴダールのような銃撃戦といい、主人公が全てを終えたむなしさの中、かつての安らぎを思い出すラスト・ショットといい、神がかりと言ってもいいほどの出来栄え。キャストも完璧に近い。シェルが年老いてシブ味のにじむいい役者となったのが嬉しい発見である。母のレッドグレーヴは出番は少ないが、ラストにおける眼差しの深みが素晴らしい演技（９４年ヴェネチア音楽祭助演女優賞、作品は銀獅子賞に輝いている）。

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | ジェームズ・グレイ | James Gray |
| **製作** | ポール・ウェブスター | Paul Webster |
| **脚本** | ジェームズ・グレイ | James Gray |
| **撮影** | トム・リッチモンド | Tom Richmond |
| **音楽** | デイナ・サノ | Dana Sano |
| **出演** | ティム・ロス | Tim Roth |
| | エドワード・ファーロング | Edward Furlong |
| | モイラ・ケリー | Moira Kelly |
| | ヴァネッサ・レッドグレーヴ | Vanessa Redgrave |
| | マクシミリアン・シェル | Maximilian Schell |
| | ナターシャ・アンドレイチェンコ | |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.